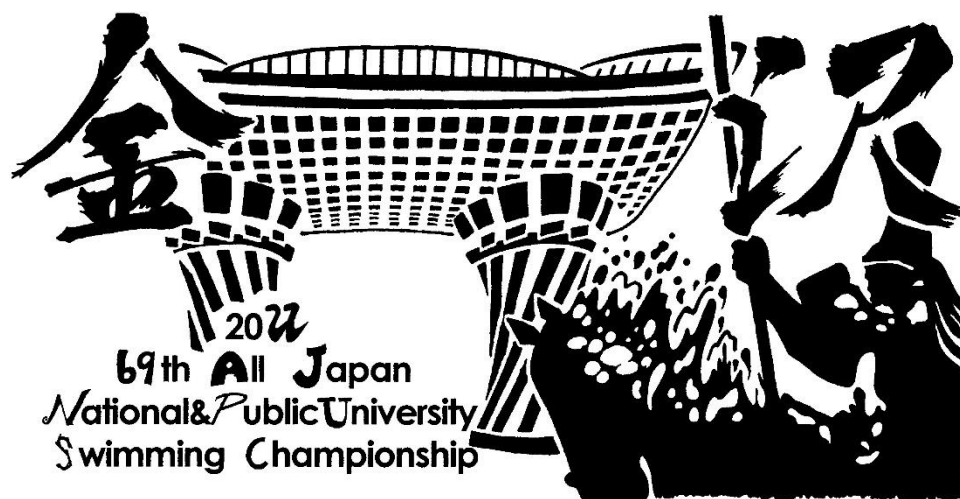




第 69 回 全国国公立大学選手権水泳競技大会

監督者会議資料

全ての参加校へのご案内

- ・ 2022 年 8 月 10 日（水）14 時より、金沢プール内会議室にて開催します（新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン会議を併用します）。
- ・ 必要に応じて、事前に各自で本資料を印刷してください（会場での紙媒体の配布は、行いません）。

オンラインで参加される学校へ

- ・ 下記 URL より参加してください（通信料は、参加者負担となりますのでご了承ください）。13 時 45 分より入室いただけます。
- ・ 会議に参加される際は、参加者名を「登録団体番号＋学校名」として、待機してください。管理者にて学校名の確認ができましたら、ログインを「承認」いたします。
- ・ 原則、1 校 1 アカウントでのログインにご協力ください。
- ・ カメラは常時 OFF としてください。

また、質疑応答の時間帯に指名された場合を除いて、マイクも OFF としてください。

監督者会議 URL

<https://us02web.zoom.us/j/82699760391?pwd=bjFzV0FPY2prTVQ5VUtvVcTcwVnhtdz09>

（QR コードもご利用いただけます）

- ・ ミーティング ID：826 9976 0391
- ・ パスコード：885525



会場で参加される学校へ

- ・ 会議への参加者は 1 校につき、1 名とします。

大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 本連盟ホームページの「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について（再通知）」（2022年7月25日版）を確認した上で、参加すること。
- (3) 入館前7日間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- (4) 入館前14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は、入館できない。
- (5) 「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は入館できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (6) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるように準備する。COCOAを入れている場合は、電源をONにした上でBluetoothを有効にすること。
- (7) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内でもマスクを着用し、会話を控えること。入場準備の際はマスクをはずしてもよい。招集所でははずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (8) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。
- (9) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2m以上）をとって行動すること。
- (10) レース終了後、サブプールまでの移動中はマスクを着用すること。すぐにマスクを着用できない場合は、レース後待機所（ウッドデッキ）で呼吸を整えてから着用すること。
- (11) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。（レース直前のスタート台付近や、サブプールでの練習時）
- (12) 食事は、選手控え場所・観覧席のみで、人との距離を2m以上保ち単独で取ること。
- (13) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (14) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有のガウン、ドリンクサーバー、アイシングバス
 - ・ マッサージベッド、メガホン
 - ・ チーム共有のストレッチマット、チューブ、バランスボール、トレーニングバイク等の運動用具（個人専用は持ち込み可）
 - ・ 練習時のパドル・コード類

1 競技について

- (1) 本競技会は、2022 年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、予選・リレー競技は 10 レーン、決勝は 8 レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 個人種目は、予選と決勝を行う。リレー種目はタイムレース決勝とし、決勝時間に行う。
- (4) 決勝は、予選の結果、上位 8 名が出場できる。なお、決勝進出者は 1 校につき上位 2 名までとする。
- (5) 決勝の進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、スイムオフを行う。
- (6) 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。補欠は 2 名とする。
- (7) 招集は競技開始 10 分前から行う。本人確認のため、招集所には AD カード(学生証のコピー入り)を持参すること。招集の際に水着の確認を行う。ガウンは、同日内に他人と共有しない場合に限り着用できる。
- (8) 予選・リレー競技を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、指定時間までにリゾリューションデスクに届け出ること。来場できない場合は、棄権届(メール提出用)を作成し、指定時間までにメールで提出すること。時間内に届け出をしなかった場合は、棄権料 3,000 円を徴収する。また、無断で棄権した場合は、さらに罰金 3,000 円を徴収する。原則として、決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後 1 時間以内に棄権料 3,000 円を添えてリゾリューションデスクに届け出ること。棄権届け出後、上訴審判の裁定により棄権が受理された場合は、繰り上げ選手の決定を行う。

	予選競技	リレー競技
8 月 10 日(水)	—	15 : 30
8 月 11 日(木)	9 : 10	14 : 30
8 月 12 日(金)	8 : 40	13 : 20

【提出先メールアドレス】: zenkokko@swim-kansai.com

- (9) 競技成立後は、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。リレー種目の第 1 泳者から第 3 泳者についても、ゴールタッチ後は、折返監察員の指示により、プール横から退水すること。
- (10) 計時バックアップは、半自動計時装置を使用する。
- (11) 選手紹介は、予選は組のみの紹介、タイムレース決勝(最終組以外)は各レーンで紹介、決勝・タイムレース決勝(最終組)は入場ゲート前で紹介を行う。決勝・タイムレース決勝(最終組)に出場する選手は、氏名、学校名の通告を受けてから入場すること。
- (12) リレーオーダーは下記の時間までにリゾリューションデスクに提出すること。

	提出締切時刻
8 月 10 日(水)	15 : 30
8 月 11 日(木)	14 : 30
8 月 12 日(金)	13 : 20

- (13) 本競技会は、上訴審判団を設置する。

2 表彰について

- (1) 1 位から 3 位にメダルならびに賞状を授与し、表彰する。4 位から 8 位に賞状を授与する。
- (2) 賞状の受け取りと、AD カードによる記録証の発行は、リゾリューションデスクで行う。
記録証の発行時間 10 : 30 から予選終了後 1 時間、決勝競技開始から決勝終了後 30 分

3 全体スケジュール

月 日	日程	開門時間	予選競技		決勝・タイム決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
8 月 10 日(水)	1 日目	13 : 00	—	—	16 : 30	18 : 00	19 : 00
8 月 11 日(木)	2 日目	7 : 30	9 : 30	13 : 30	15 : 00	18 : 00	19 : 00
8 月 12 日(金)	3 日目	7 : 30	9 : 00	12 : 20	13 : 45	16 : 50	17 : 50

8 月 11 日(木) 開始式(9 : 10~)

8 月 12 日(金) 閉会式(決勝競技終了後直ちに行う)

※開始式、閉会式について、各校代表者は部旗をもってプールサイドに間隔をあけて整列すること。

4 プールの使用について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、練習時に、各レーン内で待機する場合、スタート練習で並ぶ場合も距離を保つこと。練習時の大きな声での指示は控えること。メインプール、サブプールとも練習中は電子ホイッスルのみ使用可とする。

(1) メインプール

- ① 水深は2m、水温は27.5℃に設定する。
- ② 練習は、1日目はリレー競技開始15分前、2日目は開始式開始15分前、3日目は予選競技開始15分前までとする。また、2・3日目は、当日の予選競技に出場する選手のみとする。
- ③ 昼休みの練習は、当日の決勝・リレー競技出場者のみとする。
- ④ 練習時のメインプールのレーン指定は次の通りとする。
 - ・ 1日目および2日目の朝と昼休み
 - 0レーン : ダッシュレーン (ターン側からの一方通行とする)
 - 1レーン : ペースレーン (クロールスイムのみでの使用可)
 - 2～8レーン : フリーレーン
 - 9レーン : ダッシュレーン (スタート側からの一方通行とする)
 - ・ 2日目の競技終了後と3日目
 - 0レーン : ペースレーン (クロールスイムのみでの使用可)
 - 1～7レーン : フリーレーン
 - 8・9レーン : ダッシュレーン (スタート側からの一方通行とする)
- ※スタート側のダッシュレーンは、利用人数によりレーン数を拡大する。
- ⑤ パドル・コード類の持ち込みは禁止する。
- ⑥ 公式スタート練習は行わない。

(2) サブプール

- ① 水深は1.4m、水温は27.5℃に設定する。
- ② 飛び込みは禁止する。
- ③ パドル・コード類の持ち込みは禁止する。

(3) ダイビングプール

- ① 水深は5.0m。
- ② 競技中はダウン専用とする。
- ③ 飛び込みは禁止する。
- ④ クーリングダウンでの使用を目的とするので、全てのホイッスルの使用は禁止する。

5 水泳場の使用について

- (1) ADカードを持っている選手・関係者のみ入館できる。学生は、ADカードのケースに学生証のコピーを入れること。学生以外は、免許証・マイナンバーカードのコピー、または名刺を入れること。(顔写真・氏名・学校名以外は、黒塗り可)
- (2) 選手席・選手控え場所は、全日程を通じて使用できる。
- (3) 場所取り入場は、行わない。スタンド席・控え場所の割振りは各支部の大学間で調整すること。
 - ① 選手控え場所は、事前に指定した範囲(館内ならびにプールに隣接するあめりかんパーク)に限る(別紙会場図参照)。
 - ② シード校は、予め指定されたスタンド席および1階ウッドデッキを使用できる。その他の学校は、スタンド席およびウッドデッキ上部(2階)のスペースを使用できる。
 - ③ 指定された場所以外は場所取り禁止とする。
 - ④ 荷物を置いて帰る場合は、指定されたスタンド席の座席下に学校ごとにまとめること。ただし、盗難について主催者は責任を負わない。スタンド席は毎日、競技終了後、消毒液を噴霧する。
 - ⑤ 利用する場所は、各大学の責任において消毒すること。なお、更衣室、招集所、出入り口のドアなど共用部は大会主催者が抗菌化作業を行う。
- (4) サブプールのプールサイドは、練習時の荷物置き場とし、場所取り禁止とする。
- (5) 選手・付添者の入退館は、2階入口を使用する。2・3日目の朝開門時の入口は、支部により異なるため、会場図で確認すること。

- (6) 全館土足禁止のため、シューズケース（シューズ袋）を持参し、プール建物入口で履き替えること。
なお、あめりんパークとの往来の際にも土足に履き替え、あめりんパーク建物内ではプール館内と同じく上履きを使用すること。
- (7) 入館前に手指消毒をして、検温を受けること。入館時の検温で 37.5℃以上あった場合は、別の場所で再度検温する。その結果、37.5℃以上あった場合は入館できない。再入館する際も、手指消毒・検温を受けること。
- (8) 「健康チェック表」の提出について
 - ① 来場前にウイルス検査での陰性確認を行うこと。詳細は、別紙「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について（再通知）」（2022 年 7 月 25 日版）を確認すること。
 - ② 本連盟ホームページからダウンロードした「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入すること。
「健康チェック表」は、入場日毎に、都度提出すること（最大で3枚準備すること）。
 - ③ 「健康チェック表」の体温・体調については、入場 2 日前、1 日前、当日の 3 日分を記載すること。
 - ④ あめりんパーク利用時を含む、外出後に再入館する際は、入口においてADカードの確認および検温を行うが、「健康チェック表」の提出は必要ない。
 - ⑤ 回収した「健康チェック表」は返却しないので、記載内容を写真等で保管すること。
- (9) 館内にいるときは、ADカードを常時首から下げておくこと。また、入退館に際しては、ADカードを提示し、係員の指示に従うこと。紛失した場合は、有償（3,000 円）にて再発行を受けること。ただし、付添者ADカードは再発行しない。ADカードの管理は厳重に行うこと。
- (10) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (11) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（できるだけ 2 m 以上）をとって行動すること。選手控え場所・スタンド席で、人との距離・座席間の距離を保つこと。
- (12) 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、自分専用の物を用意し、共用しないこと。
- (13) マッサージベッドの持ち込みは禁止する。
- (14) ウッドデッキでのメディシンボールの使用は禁止する。
- (15) 泳ぐとき以外は、原則として常にマスクを着用すること（更衣室・招集所・選手控え場所・スタンド席・プールサイド・トイレなど）。レース前に外したマスクは、服のポケットか袋に入れること（マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない）。招集所内では、他の選手との十分な間隔をとって、マスクを外すことができる。
- (15) 招集所には、招集を受ける選手以外は立ち入ることはできない。選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
- (16) 更衣室は更衣のみの使用とし、ロッカーは使用できない。更衣室内を控え場所としたり、飲食をしたりすることはできない。置き荷物は忘れ物として扱う。また競技会終了後、残った忘れ物は処分する。
- (17) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (18) 大きな声での会話や声を出しての応援をしないこと。ワンパ、円陣、ハイタッチは禁止する。
拍手、手拍子、スティックバルーンの使用は認める。また、メガホンおよびエアホーン等の鳴り物は持ち込んでではない。
- (19) 飲食については、スタンド席・選手控え場所以外で行わないこと。食事は個別に摂取すること。やむを得ない場合には十分な距離をとり、対面しないようにし、食事会の会話は控えること。ドリンクの回し飲みはせず、飲み切れなかったドリンクを、指定場所以外に捨てないこと。
- (20) 部旗は、1 校 1 枚に限り掲出できる（横断幕、のぼりは、持ち込んでではない）。掲出できる場所は、ウッドデッキ上（2 階）の手摺とし、部旗の大きさによっては掲出できる場所を限定する場合がある。
掲出する際、マスキングテープのみ使用することができる。
- (21) 会場内外でのミーティング等は控えること。

6 注意事項、その他

- (1) 金沢プール東駐車場（200 台）・テニス場 3・4（100 台）が使用できる。駐車の際は、誘導員の指示に従い、道路上での乗降および路上駐車は絶対にしないこと。なお、台数に限りがあるため、停められない場合の駐車場の確保は各大学で行うこと。
- (2) 盗難防止のための貴重品の保管については、各自の責任において管理すること。
- (3) マネージャーミーティングを 2・3 日目は 8：00（受付 7：45）より 2 階ロビーにて行う。
- (4) プログラムは、選手受付にて 1 部 2,000 円で販売する。また、決勝スタートリストは 1 日分 200 円で販売する。

- (5) 会場内・アリーナ内では必ず、所属校のユニフォームを着用すること。高校名・スイミング名等の入った物の使用は固く禁ずる。
- (6) 公式掲示板は設置しない。
- (7) 競技結果を、下記の公式サイトで確認することができる。
 - ① 日本水泳連盟公認サイト「[Results of Japan Swimming](https://result.swim.or.jp/)」(<https://result.swim.or.jp/>)
 - ② 日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://sp.j-swim.jp/>)
 - ③ 全国国公立大学選手権公式サイト (<https://zenkokko.jp/2022/index.html>)
 - ④ 全日程、YouTube にてL I V E配信を行う。(予定)
- (8) 入場時に2日間続いて「37.5℃以上」に達するなど、「入館できない条件」に該当した場合は、医師の判断を仰ぎ関係各所に連絡をする。
- (9) 会場への移動時や館内においても、熱中症には十分に留意し、こまめな水分補給を心がけること。
- (10) コロナ禍での大会開催を鑑み、居住地からの移動時、宿泊地と会場の移動時、夜間の外出や食事等、感染症対策に則った行動をとること。

以上